

株式会社 ファミリーマート 御中

インドネシア共和国
北ジャカルタの学校における防災能力向上プログラム

第3 四半期報告書(2016年2月～2016年4月)



2016年5月
公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン



1. 事業概要

事業名	北ジャカルタの学校における防災能力向上プログラム(第2期)
対象国・地域	インドネシア共和国 ジャカルタ首都特別州 北ジャカルタ
事業期間	2015年8月1日～2016年7月31日
報告期間	2016年2月1日～2016年4月30日
予算	7,500,000円
受益者	直接裨益者：対象小学校10校の生徒2,775人、教師100人 対象小学校周辺の地域住民約150名
事業目的	毎年洪水の被害を受けている北ジャカルタのチリンチン地区において、学校における活動ならびに学校周辺コミュニティとの連携を通じて、子どもたちの自然災害に対する防災適応能力の更なる向上と定着を目指す。

2. 活動進捗

活動1. コミュニティを巻き込んだ避難訓練の実施

1-1. カリバル地域で実施された避難訓練のレビュー

数度にわたって小規模の会合を重ねた後、2016年1月28日にカリバル地域で実施された避難訓練を振り返るワークショップを2月16日に開催しました。ワークショップには住民や参加関係機関から81人(男性33人、女性48人)が参加し、「地域レベルでの防災対応強化への取り組みの必要性」「恒常的な防災体制を築くため、散発的な訓練に留まらない災害対応プロセス体制を構築し、災害リスクマップやマニュアルを地域レベルで整える必要性」「避難訓練プロセスのビデオを完成させ、これまでの本避難訓練の参加者や関係者および他の地域と共有する必要性」等が指摘されました。

1-2. 5月の避難訓練に向けた調整会議

3月16日、対象校・政府関係機関・地域代表等の関係者ら34人(男性19人、女性15人)と共に今後の避難訓練に向けた調整会議を行いました。この会議では、主に5月の避難訓練の実施地・実施校の決定、それに向けた災害対応チームの設置の仕方、当該地域および小学校における災害対応体制の見直しについて話し合いました。5月の避難訓練の実施校は、マルンダ地域のAl Ikhwan小学校とすることが決まりました(7月には、スカプラ地域のAr Ridho小学校での避難訓練を計画しています)。

1-3. 北ジャカルタ市長との面談

3月23日、北ジャカルタ市長のRustam Effendi氏(表紙写真中央、白いシャツ)と面談し、防災活動の法令化や、市を管轄する行政機関各局の連携や役割分担に向けた指針を示す必要性への理

解と対応を求めました。これに対し、市長はその具体化に向けて、北ジャカルタ市防災局と技術的な調整を進める意向を示しました。

活動2. ライフスキル能力強化研修の実施

2-1. 「心理的応急処置 (Psychological First Aid: PFA)」と「こどもひろば (Child Friendly Space: CFS)」に関する研修

4月27日から30日にかけて「心理的応急処置(PFA)」「こどもひろば(CFS)」の2テーマについて、その実施方法を指導する研修を行いました。

この研修はセーブ・ザ・チルドレンが北ジャカルタ市で実施する他の事業と合同で行われました。本事業対象校10校を含む小学校30校およびコミュニティ代表が対象となり、本事業からは41人(男性17人、女性24人)が参加しました。

「心理的応急処置」とは、災害などの際、子どもたちの発達状況に応じて適切なコミュニケーションをとり、必要な支援につなげていくための対応です。また、「こどもひろば」とは、災害時に避難所で、子どもが安心・安全に過ごすことのできる場所です。同年代の子どもたちと安心して遊び、日常に近い生活を取り戻すことによって、子どもたちが災害による影響から立ち直ることができるよう支援することが設置の目的です。

セーブ・ザ・チルドレンはこうした「心理的応急処置」や「こどもひろば」を世界中の紛争や災害などの緊急支援現場で実施しており、被災した子どもたちを支援しています。日本国内での災害時も例外ではなく、今回の熊本地震で被災した子どもたちにも同様の支援を実施しています。

2-2. 消防・防火活動訓練

4月14日から24日にかけて、本事業対象校8校および周辺地域の住民を対象として、各学校毎に消防・防火訓練を実施しました。この訓練には子どもたちを含む480人(男性190人、女性290人)が参加しました。チリンチン地区においては火災が洪水に次いで多い災害であるため、対象校や地域に対してはこの訓練への参加に必ず参加するよう呼びかけました。

活動3. 啓発ツールの配布

セーブ・ザ・チルドレンは北ジャカルタ市のローカルテレビ局「DAAI TV」¹との協力の下、「安全な学校づくり」を題材とした啓発ビデオの作成に取り組んできました。その中で、本事業対象校のひとつである、Pantai Indah 小学校の防災事業への取り組みも紹介されています。このビデオは下記のURLより視聴することができます(本事業について紹介されているのは、4分20秒-6分03秒の部分です)。

https://youtu.be/N_u1HA2a0nY

¹ DAAI TV は、社会・人文的テーマに特に焦点をあてた番組を取り扱うローカルテレビ局です(同局のホームページのURLwww.daaitv.co.id)。

3. 変更点および現在の課題

Kasih Immanuel 小学校より学校内の事情により本事業への参加継続を辞退するとの申し出があり、2月より活動を停止することになりました。同校に替わって、カリバル地域に所在する Darussalam 小学校が加わり、引き続き対象校を10校として事業活動を続けていくことになりました。

4. 今後の活動予定（★はファミリーマート社員様の参加が可能な活動です）

活動内容	2016年		
	5月	6月	7月
災害対策にかかる「ライフスキル能力向上」訓練		✓	✓
地方政府や学校とのコーディネーション		✓	
避難訓練の実施 （「ライフスキル能力向上」訓練の実践を含む）	★(5/26) ✓		★ ✓
広報資料等の作成	✓		
成功事例の共有と文書化			✓
完了報告書の作成			✓

5. 活動写真



北ジャカルタ市長との面談風景



4月に開催された消防・消火活動の様子



消防・防火活動には小学生や地域の人々が参加した



「心理的応急処置(PFA)」と「こどもひろば」の実施方法を指導する研修の場面